学会記事

中部支部

12月例会（2006年12月16日，中京大学・会議棟・中会議室，参加23名）
シンポジウム：今地理教育を考える
原真一（愛知県・春日井高等学校）：地理学の空間認識と地理教育
溝口晃之（愛知県・津島高等学校）：高校「地理」の変遷と問題点～
木村和雅（岐阜県・加納高等学校）：地理教育と教諭の実践

要旨は、経済地理学年報53-2号にフォーラムとして掲載予定。

北東支部

10月例会（2006年10月21日，プラザおでっ大会議室，参加17名）
シンポジウム「改正まちづくり三法の施行と地方都市中心・商業街の再生について」
千葉昭彦（東北学院大学）：まちづくり三法改正後の中核都市街地再生の可能性
福山尚司（東京大学）：コマクトシティの取組みと背景--青森市の事例から
山本哲夫（栃木県産業振興課）：栃木県における中心市街地活性化の巡る状況

要旨は、経済地理学年報53-1号（本号）にフォーラムとして掲載。

出席者：山川会長、小俣代表幹事、加藤、本木、著真、高柳、中川、川端、小林、柳井、千葉、久野（事務局）書記：本木
1. 議会に推薦する委員構成分会案は提案され議決の末、承認した。
2. 「社会貢献・国際化」に向けた委員会に関して、前回の議事録を踏まえて、代表幹事より「社会貢献・国際化」検討・推進委員会設置について提案があり、委員会の位置づけと活動内容、スケジュール、委員候補者などについて審議の末、承認した。
3. 人文地理・経済地理及び地域教育関連学会協議会への出席関係の報告が会長よりあった。また人文地理学会提案の関連学会による、文部科学省への高等学校地理歴史科の修学目的選択観について要請の依頼について審議し、要請することとした。要請内容については、日程上、代表幹事を中心に原案を作成し、常任幹事へ電子メールにて回覧・検討・成案化することとした。
4. 金沢大学リポジトリへの年報掲載論文収録要請について高柳外委員長より報告があり、審議の末、登録不可ということした。
5. 各支部の活動について、各支部代表幹事から報告があった。
6. 「経済地理学年報」の編集状況について、編集委員長より報告があった。
7. 会員動静について、総務委員長より報告があり、新入会員8名、新会員1件、退会者6名、退会者3名を承認した。
8. 事務局への寄贈文献お断りについて、総務委員長より周知徹底の要請があり、年報に掲載することとした。

2006／2007 第1回評議会議事録

日 時：2006年11月25日（土）12：10～13：00
場 所：那覇市ふんかテンプス館・会議室
出席者：山川会長、小俣代表幹事、荒木、上野、加藤、高柳、小林、川端、小林、千葉、長尾、中川、西野、著真、本木、柳井雅人、久野（事務局）書記：本木
1. 経済地理学会第25回委員会設置について、代表幹事より常任幹事推薦の委員会構成の報告があり、承認した。
2. 「社会貢献・国際化」に向けた推進委員会設置について